

# 平戸の新星 第5回

## 放課後は週に3回諫早へ 父と夢追い練習に通う



鮮やかなユニフォームを身にまとい、ボールを蹴るのは、津吉小学校6年の江川璃瑠斗さん。  
璃瑠斗さんは、昨年の3月から、長崎県が誇るプロサッカーチームV・ファーレン長崎のジュニアチーム「U-12」に所属しています。  
チームの本拠地は諫早市内にあるため、璃瑠斗さんは週

に3回、放課後に諫早まで通っているそうです。  
サッカー好きなお父さんと一緒にボールを蹴って遊んでいたことから自然とサッカーが好きになった璃瑠斗さんは、今では「プロサッカー選手になって、父の夢も叶えたい」と力強く話してくれました。  
入団後、フォワードとして練習に励んでおり、チームは長崎県少年サッカー大会で優勝、12月26日からの全日本少年サッカー大会へ出場しました。

サッカー日本代表としてワールドカップで活躍した伊藤純也選手の「自ら縦に突破してアグレッシブに攻めていける強さ」に憧れていて、もっともつと足元の技術を磨いていきたいそうです。

平日は週に3回の練習、そして土日はトレーニングマッチのため諫早まで通い、息つく暇もなくサッカーに打ち込む璃瑠斗さん。

中継などで、その雄姿を見る日も近いかもしれません。



津吉小学校  
6年  
江川 璃瑠斗さん  
(津吉町)

過酷なスケジュールをこなすエネルギー源は、お父さんが作る手料理だそうです。

### 【突破力を武器に技術を磨いてほしい】

璃瑠斗さんは、持ち前のスピードを武器に、チームでも活躍してくれています。もっともっと上手になりたいと強い思いを抱いているので、さらに技術を磨いてほしいです。

V・ファーレン長崎U-12監督 松下 年宏さん

## 平戸海関が凱旋

生涯学習課スポーツ推進班 ☎22-9214



11月30日、昨年の大相撲9月場所で幕内昇進を果たし、11月の九州場所で10勝5敗の好成績を収めた本市出身の平戸海関が凱旋しました。

同日、午後2時には平戸市役所を訪問。多くの市民と職員の歓迎を受けました。黒田市長との面談では、コロナ禍で帰郷できなかった3年間の近況を報告し、九州場所について「長崎や平戸の皆さんの応援のおかげで好成績をあげることができました」と振り返りました。

その後、平戸文化センターで平戸警察署から「平戸署防犯・交通安全広報大使」に任命され、ミニ防犯教室や手のひら運動のデモンストラクションなどを通して、保育園児に交通安全の大切さを伝えました。

北松農業高校相撲場では、同校相撲部と小中学生の稽古を見学。「皆さん強いので、九州・全国大会を目指して頑張ってください」とエールを送りました。

### 人口の動き

( )は、前月との比較  
令和4年12月1日現在

■総人口	29,211人(-57人)	■平戸地区	16,825人(-36人)
■男性	13,862人(-22人)	北部地区	10,014人(-6人)
■女性	15,349人(-35人)	中部地区	3,260人(-13人)
■世帯数	13,756戸(-10戸)	南部地区	3,551人(-17人)
■市民課戸籍住民班	☎22-9123	■生月地区	4,797人(-4人)
		■田平地区	6,640人(-17人)
		■大島地区	949人(0人)

### 交通事故件数

令和4年11月末現在

■件数	38件(39件)
■死者	3人(0人)
■負傷者	50人(49人)

※( )内は昨年同期

☎総務課危機管理班 ☎22-9101

### 火災救急件数

令和4年11月末現在

■火災	35件(33件)
■救急	1,612件(1,425件)

※( )内は昨年同期

☎消防本部予防課 ☎22-3167

P 2	目次・平戸海関が凱旋・人口の動き・交通事故件数・火災救急件数
P 3	平戸の新星
P 4~7	年頭のあいさつ
	特集
P 8~13	考えよう、住まいの「未来」
P 14~15	定住促進住宅の入居者募集
P 16~17	新しい民生委員・児童委員が決定
P 18~19	税の申告
P 20	そうだ図書館へ行こう
P 21	まちづくり協議会紹介・「古写真」から見る平戸の記憶遺産
P 22	高齢者通いの場
P 23	生活環境班コラム・国際交流員の日記
P 24~25	子育て・健康応援コーナー
P 26~30	見逃せない情報がココに(お知らせ)
P 31	暮らしに役立つ情報がここにも(お知らせ)
P 32~33	まちのできごと
P 34	うぶ声&おくやみ・TownTopic
P 35	ハッピーバースデー
P 36	カレンダー